

グローバル高金利通貨ファンド

【愛称：プレミアムエイト】

追加型投信／内外／債券

日経新聞掲載名：プレミ8

第35作成期 2024年12月24日から2025年5月30日まで

第205期 決算日
2025年1月22日第206期 決算日
2025年2月25日第207期 決算日
2025年3月24日第208期 決算日
2025年4月22日第209期 決算日
2025年5月22日第210期 償還日
2025年5月30日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは世界各国の現地通貨建て短期ソブリン債券等を主要投資対象として、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ここに当作成期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当作成期の状況

| | |
|-------------|-----------|
| 償還価額（償還日） | 5,728円70銭 |
| 純資産総額（償還日） | 519百万円 |
| 騰落率（当作成期） | -5.2% |
| 分配金合計（当作成期） | 40円 |

※騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
 受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

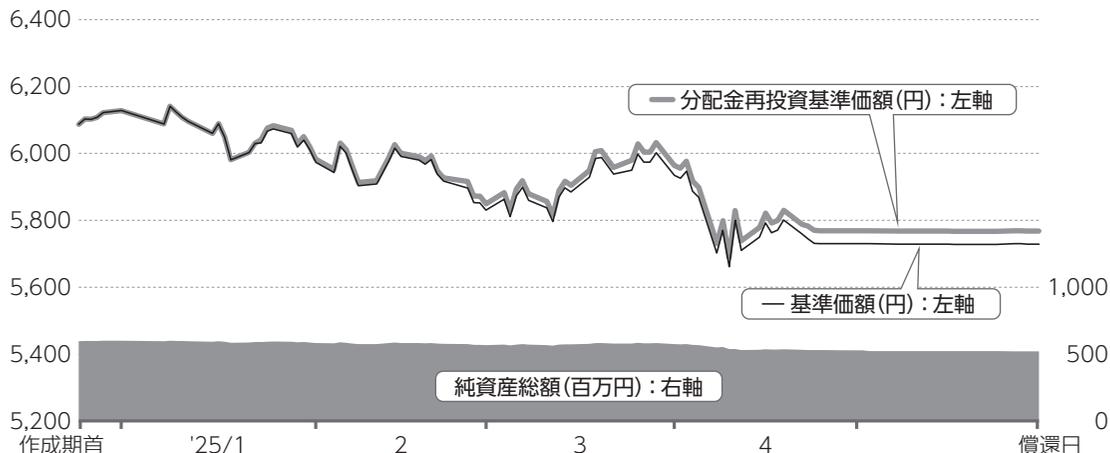
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

【閲覧方法】<https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/>にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2024年12月24日から2025年5月30日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|------|----------------------------------|
| 作成期首 | 6,087円 |
| 償還日 | 5,728円70銭 (当作成期既払分配金40円(税引前)) |
| 騰落率 | -5.2% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2024年12月24日から2025年5月30日まで)

当ファンドは、OECD(経済協力開発機構)加盟国およびこれに準ずる国ならびにFTSE世界国債インデックス採用国の中から、取得時において主要格付け機関の自国通貨建長期債務格付けがBBB格(投資適格)相当以上の国(通貨)の現地通貨建て短期ソブリン債(政府や政府機関、国際機関などが発行する債券)等を主要投資対象とし、相対的に金利の高い国に投資しました。

外貨建資産については対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 保有する債券から得られるインカム収益

下落要因

- 日銀の利上げ実施や先進国の短期金利の低下などを背景とした円高による為替差損

1万口当たりの費用明細 (2024年12月24日から2025年5月30日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|-------------|------|---------|---|
| (a) 信託報酬 | 27円 | 0.453% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は5,873円です。 |
| (投 信 会 社) | (13) | (0.215) | 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 |
| (販 売 会 社) | (13) | (0.215) | 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.023) | 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | - | - | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (-) | (-) | 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (先物・オプション) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (c) 有価証券取引税 | - | - | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 |
| (株 式) | (-) | (-) | 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (公 社 債) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (d) その他費用 | 2 | 0.040 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (2) | (0.039) | 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.001) | 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 |
| (そ の 他) | (-) | (-) | そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合 計 | 29 | 0.493 | |

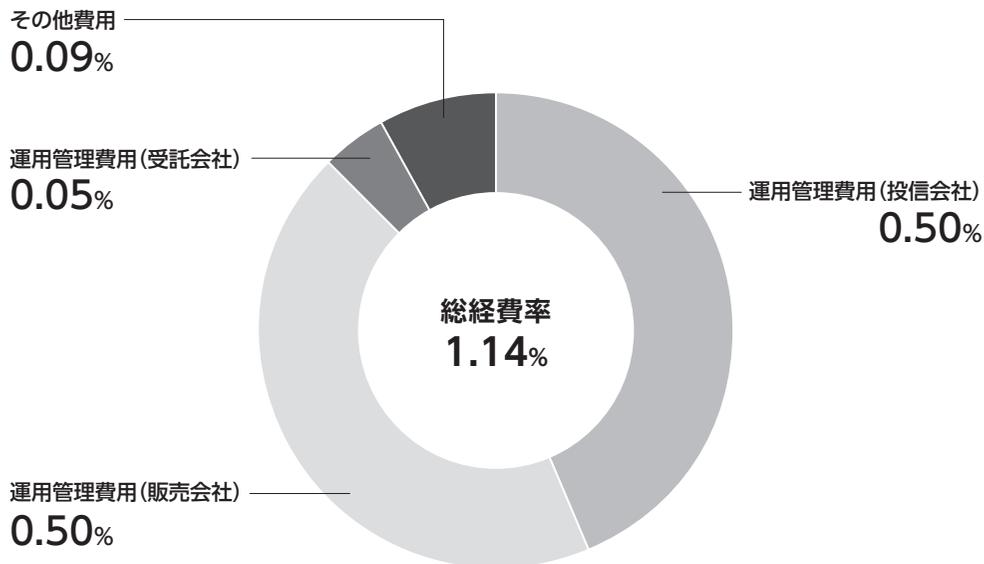
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.14%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2019年12月23日から2025年5月30日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2019年12月23日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | 2019.12.23 決算日 | 2020.12.22 決算日 | 2021.12.22 決算日 | 2022.12.22 決算日 | 2023.12.22 決算日 | 2024.12.23 決算日 | 2025.5.30 償還日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 5,156 | 4,852 | 4,915 | 5,245 | 5,796 | 6,087 | 5,728.70 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 180 | 130 | 120 | 120 | 120 | 40 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | -2.3 | 4.0 | 9.1 | 12.9 | 7.1 | -5.2 |
| 純資産総額 (百万円) | 902 | 786 | 715 | 716 | 702 | 596 | 519 |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境について(2024年12月24日から2025年5月30日まで)

投資国の短期債券市場では、短期金利は低下(価格は上昇)しました。為替市場では、投資通貨は円に対して下落しました。

債券市場

投資国の短期債券市場では、各国中銀が利下げを実施する中、短期金利は低下しました。また、トランプ政権の関税政策などを巡り、グローバルに景気減速懸念が高まったことも短期金利の低下要因となりました。

為替市場

投資通貨は対円で下落しました。日銀の利上げ実施や海外の短期金利低下などが下落要因となりました。

ポートフォリオについて(2024年12月24日から2025年5月30日まで)

●組入国(通貨)別配分

期初より組入国(通貨)への均等分散投資を維持しました。組入国(通貨)については、ノルウェー、イギリス、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、メキシコの8カ国(通貨)の組み入れを維持しました。ただし、償還に伴い保有資産を全売却し、償還までは安定運用を実施しました。

●種別配分

債券種別は、国債を中心に組み入れましたが、格付けの制限からメキシコは国際機関債を組み入れました。

●格付け別配分

組入債券の格付けは取得時における主要格付機関の信用格付けがA格相当以上とし、ポートフォリオ全体の平均格付けについてもAA格相当以上としました。

●残存期間別配分

組入債券の年限は、概ね3年以内に償還を迎える短期債券への投資を継続しました。

ベンチマークとの差異について(2024年12月24日から2025年5月30日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2024年12月24日から2025年5月30日まで)

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたしました。

なお、第210期については、償還のため該当事項はございません。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第205期 | 第206期 | 第207期 | 第208期 | 第209期 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 当期分配金 | 10 | 10 | 10 | 10 | 0 |
| (対基準価額比率) | (0.17%) | (0.17%) | (0.17%) | (0.17%) | (0.00%) |
| 当期の収益 | 9 | 8 | 10 | 6 | - |
| 当期の収益以外 | 0 | 1 | - | 3 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 650 | 649 | 651 | 647 | 647 |

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

償還のため、該当事項はございません。

3 お知らせ

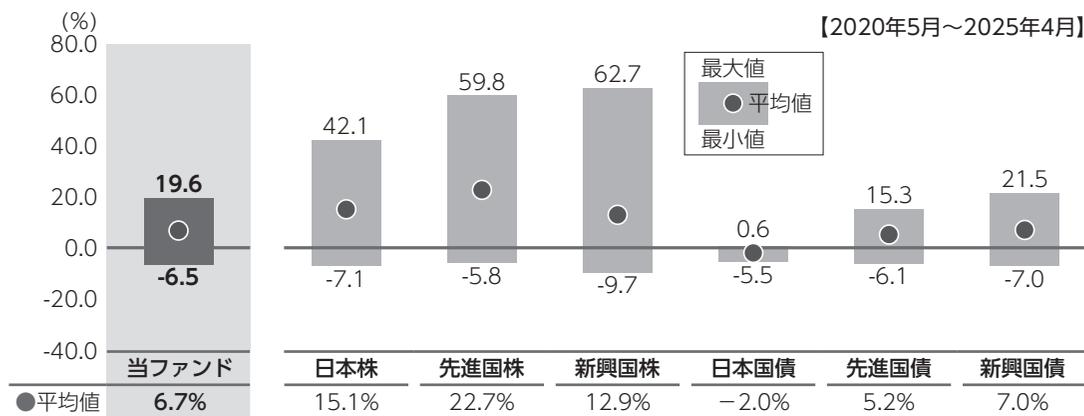
約款変更について

- 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行うため、信託約款に所要の変更を行いました。(適用日：2025年4月1日)

4 当ファンドの概要

| | |
|-------------|--|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／内外／債券 |
| 信 託 期 間 | 2008年1月7日から2025年5月30日まで |
| 運 用 方 針 | 世界各国の現地通貨建て短期ソブリン債券等を主要投資対象として、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指した運用を行います。 |
| 主 要 投 資 対 象 | 世界各国の現地通貨建て短期ソブリン債券等 |
| 当ファンドの運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ■世界各国から相対的に高金利の8通貨を選定し、当該通貨建ての債券に分散投資を行います。 ■OECD加盟国、これに準ずる国(経済規模や債券の発行量・流動性を考慮)およびFTSE世界国債インデックス採用国の中から、取得時において主要格付機関の自国通貨建長期債務格付けがBBB格(投資適格)相当以上の国(通貨)を投資対象とします。 ■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ■投資対象とする債券は、主として高格付けの短期ソブリン債券とします。 |
| 組 入 制 限 | <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分 配 方 針 | <ul style="list-style-type: none"> ■毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> |

5 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

| | |
|------|---|
| 日本株 | TOPIX(東証株価指数、配当込み) 株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社が算出、公表する指数で、日本の株式を対象としています。 |
| 先進国株 | MSCIコクサイ・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。 |
| 新興国株 | MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI(国債) 野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。 |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。 |
| 新興国債 | JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

6 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2025年5月30日)

有価証券等の組入れはありません。

純資産等

| 項目 | | 第205期末 2025年1月22日 | 第206期末 2025年2月25日 | 第207期末 2025年3月24日 | 第208期末 2025年4月22日 | 第209期末 2025年5月22日 | 第210期末 2025年5月30日 |
|------------|-----|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 純資産総額 | (円) | 590,020,907 | 574,203,516 | 579,205,622 | 531,036,297 | 522,954,723 | 519,897,394 |
| 受益権総口数 | (口) | 978,266,602 | 973,834,056 | 973,394,109 | 924,579,718 | 912,996,122 | 907,531,829 |
| 1万口当たり基準価額 | (円) | 6,031 | 5,896 | 5,950 | 5,744 | 5,728 | 5,728.70 |

※当作成期における、追加設定元本額は1,897,174円、解約元本額は73,847,598円です。

7 償還を迎えて

当ファンドは、2025年5月30日に償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。